

## 【プログラム設計の研修年限の自由度について】

内科に限らず、各領域のプログラムは最短で専門医を取得することを前提に設計されることと思います(内科の場合は最短3年)。

しかし、内科の研修は内科一般を万遍なく診る期間もあれば、特定のサブスペシャリティ研修に比重を置く期間もあると思われます。地域の事情や特性にも配慮し、必ずしも最短の期間ではなく、余裕を持ったプログラム設計を指摘する声も寄せられました。

そのため、基本領域研修の研修期間に余裕をもった設計もできる一例として「**内科・サブスペシャリティ混合タイプ**」を例示しました。

医師経験 年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9 (年次)
初期研修	初期研修								
内科・サブスペシャリティ 混合タイプ				内科専門研修			修了 認定 ✓	専門医 試験	
4年以上、やや余裕をもって 内科研修を組み、サブスペ 研修も行なう				サブスペシャリティ専門研修			修了 認定 ✓	専門医 試験	
内科とサブスペシャリティ の研修を修了することが 必須要件									

内科専門医試験に合格することにより、同じ年度にサブスペ専門医試験の受験も可能。サブスペ専門医資格の取得が遅れることはない。

サブスペシャリティ研修の開始時期は自由